

■アート労務お客様インタビュー

ー有限会社ダイケイ社長大蔵富宏さん（坂井市のデイサービス経営）



有限会社ダイケイ社長の大蔵富宏さんは、デイサービス山のいえ笑楽日という介護デイサービス事業所を運営しています。介護デイサービスは、ヒトに関する問題を含め、経営上の悩みが付きない業種です。アート労務に依頼をしようと考えたいきさつやエピソードについてお話をうかがいました。

（インタビューは、自分ですると、わざとらしくなるので、藤井社会保険労務士事務所の藤井誠也先生に依頼をしました）

もくじ

1. 有限会社ダイケイについて
2. 依頼しようと考えたいきさつ。
3. アート労務に依頼することを決めた理由。
4. どのようにアート労務を活用しているか。
5. アート労務の良いところ。
6. これからアート労務に依頼をするか迷っている方へのアドバイス
7. 今後、アート労務に期待すること。

■有限会社ダイケイについて

— 有限会社ダイケイさんについて教えてください。

大蔵社長：有限会社ダイケイは、坂井市丸岡町で介護デイサービスの事業を行っています。従業員は18名。年商は約1億円です。

アート労務さんには、社員研修や助成金業務等を依頼しています。詳しくは次の通りです。

■依頼しようと考えたいきさつ

— いつ、アート労務に依頼しようと考えましたか？

大蔵社長：橋本さんが主催されるセミナーに参加した頃になるんですけど、2年ぐらい前になるんですかね。そこで橋本さんの人柄だったりとか、すごく真面目な信頼できる感じがしたので、それでいろんな相談をするようになりました。

その頃はまだ僕も経営者としてまだなったばかりの頃で、相談することもわからないぐらいの感じだったんですけど、その辺も、話をしていくうちに、今どういうことが必要かとか、そういうことが見えてきたって感じですね。

それと雇用に関することや健康診断に関することとかの助成金があるということも経営相談のときに聞きまして、自分が知らないことばかりだったんです。

別の労務士さんが父親のときから、お願いしている人がいるんですけども、その人というのは、助成金のこととかもそんなに言うてはくれないですし、橋本さんは、「こういうのがあるよ」とかを積極的に言うてくださって、自分のとこの会社の場合、「これが使えますよ」とか具体的に言うてもらえたんで、お仕事をお願いしようとするようになりました。

— 会社を継がれたときにわからないこととか、不安に感じていたこととかはありましたか？

大蔵社長：ほんとに右も左もわからない状態だったんですけど、橋本さんが主催されるセミナーに参加をしていろんなつながりができましたし、いろんな方と会っていくうちに、たとえば決算書（の見方）のことだとか、職員の育て方とかも相談できました。

— アート労務に依頼する前に他の会社と比較をしましたか？

大蔵社長：主でお願いしているところがあったので、そこと比較をしました。やっぱり一番大きかったのが助成金のことに詳しいのと、年代が近くて話しやすい。あとは他の人がなかなか教えてくれない戦略の部分なんかも教えてもらったので、この人なら大丈夫かなっていう気持ちで依頼をしました。

■アート労務に依頼することを決めた理由。

— アート労務に依頼することを決めた理由は何ですか？

大蔵社長：一つは、橋本さんの真面目で誠実なところですね。もう一つが、仕事以外のことでも話ができるところ。

（丸岡町竹田地区は）遠いところなんですけど、フットワークが軽いというか、来てくれるのがありがたいです。

— アート労務に依頼する前は、助成金とかは受給していましたか？

大蔵社長：商工会が紹介してくれた大きいやつ、補助金ですかね、それなんかは通ったのはあります。ただ、それなんかは普通に仕事をしていたら取れないというか、結局新しい何かを始めて、革新性がないと対象にならないんです。だから、取れる会社は限られてると思います。

今の状態でも、ちょっと社内を改善すれば、受給できる助成金っていうのがこんなにあるっていうのは知らなくて。それでとても助かりました。



■どのようにアート労務を活用しているか。

— では、アート労務をどのように活用していますか？

大蔵社長：たとえば、雇用に関する疑問、細かいところですね、そのときに職員から疑問があったこととか。今面接を考えている人、その人がこういう人なんですけど、どう思いますかみたいな。採用しても大丈夫だと思いますとか。気軽に電話をしています。

電話をそのとき取れなくても、すぐにかけてくれる。土曜日とかでも、たぶんお休みのときとかもあると思うんですよ。けど大体電話に出てきてくれる。そこはありがたいですね。

結局、土曜日が、自分が一番、周りから電話がなかったり、来客も少なかったりで、落ち着いているので、そのときに整理しやすいというか。それで電話が土曜日になってしまうことが多いんですけど。

— ほかにアート労務を活用していることはありますか？

大蔵社長：商工会のチラシを見たときに、助成金が載っていたら、「こういう場合って出ますか？」とか聞いたりしますね。あとは、数字的な部分ですね、経営相談とかの。

なかなか教わった通りには実践できていないんですけど、他ではなかなか教えてくれないのかなっていうのは思いますね。

— 退職金の規程も最近依頼をされました。

大蔵社長：就業規則なんかも、職員が増えるにつれて見直さなきゃいけないところを相談したら、「こんなんでもうですか？」とかすぐメールでくれたり。逆に僕が返事するのが遅かったりしてご迷惑をおかけしてるんですけど。

対応が早いっていうところはありがたいですね。



■アート労務の良いところ。

— アート労務の良いところがありますか？

大蔵社長：橋本さん自体が真面目で誠実で、臨機応変がききますね。

融通のきかない社労士さんだったら、あれはだめこれはだめっていう感じだと思うんですけど、これなら通るっていうところをわかっていて、それが安心というか、相談しやすいというか。

あれはだめこれはだめっていう労務士さんだと、なかなか相談もしづらいと思うんですね。「これもやっぱダメって言われるんじゃないか」とか思って。

あとは人柄ですね。年齢もあると思うんですけど、労務士さんって結構、年配の人だと、自分が地位が高い、何でも知ってて偉そうだったりとか。

特に若い経営者さんとかに上からものを言ったりとかする方が多いと思うんですけど、橋本さんはすごく経営者目線っていうか、相手に合わせてくれるのかなっていうのは思いますね。そこが人柄なのかなって思います。

三つめは、就業規則のこととかで頼りになるってところですね。で、一から十までやってくれるというか。こっちが何か作って、それをもとにちゃんとしたものを作るとかじゃなくて、ヒアリングで聞いてもらって、それだけ落とし込んで、それでちゃんとしたものを作ってくれるってところですかね。

— 他の事務所は一から十まではやってくれないんですか？

大蔵社長：今まで、お願いしたことがないので、あれなんですけど、人から聞いている話だと、一から十までやってくれないとこも多々あるみたいです。助成金なんかも自分で探さないと、その人も知らなかったり。こっちのジャンルは詳しいけど、あっちのジャンルはわからなかったりとか。

父親のときから依頼をしているところは、その人自体が年だったりするんで、あとは事務所の事務の人らだけなんで。その人らが定期的に来てくれるとかはないですね。こっちから事

務所に行くっていうのがほとんどです。それが普通やと思ってたんで。

(アート労務の良いところは)ほんとフットワークが軽いってところですね。遠くても距離を感じさせないというか。

— アート労務に依頼する前と後で変わったことはありますか？

大蔵社長：資金繰りが楽になりました。あとは安心感もありますし。それが一番大きいですね。

あとは気軽に相談できる人が身近にできたので、安心ですよ。就業規則のことなんかも、ある程度のことはわかっているけど、じっくり見てなかったですから。そこが大きいですよ。

距離っていうのを、sonだけ遠いと難しいかなって、始めは思ってたんですけど、でもやっぱり実際依頼して、距離が遠くても関係ないんだなって思いました。距離を考えず、経営に関するいろんな面で相談できるようになりましたね。だからこう安心感は違いますよね。



■これからアート労務に依頼をするか迷っている方へのアドバイス

— アート労務を利用しようか迷っている方へのアドバイスはありますか？

大蔵社長：まず橋本さん自体に、なかなか顔も見えていない人に依頼するって難しいと思うので、まず気軽に電話をしたりとか、そこで本人さんを知ってもらって、そこで安心してもらいたい。

で、まず今困っていることとかを気軽に相談して、そうすればきっといい答えをくれるんじゃないかって思うので、まず自分から連絡して、知らない人に橋本さんから連絡できないので、会話の中で、気軽に相談できるっていうことを確かめてもらいたいです。助成金のこととかわからない労務士さんもいると思うので、すぐにでも連絡してほしいです。

経営に関するいろんなことを相談できる人だと思なので、まず電話してみてください。

■今後、アート労務に期待すること。

— 今後アート労務に期待していることはありますか？

大蔵社長：職員の給与面だったりとかをアドバイスもらいながら、例えば給料を上げていたりとか、職員のモチベーションが保てるようなことをまた相談していきたいかなって思います。

あとは助成金のこととかをいろいろ提案してもらったり、こちらからも相談したり。あとは就業規則なんかも見直しが必要だったりとか、そういうところをまた相談しながら、お願いできたらなって思いますね。

それと、経営で悩んでいる方とか、今景気の良い会社さんっていうのも、元気にしてもらいたくなって。中小企業の強い味方というか、元気にしてほしいなって思いますね。

— 将来の夢はありますか？

大蔵社長：会社の掲示板にもイメージの写真が貼ってあるんですけど、旅館のような施設、施設っぽくない施設を、全国に六か所ぐらい作れたらいいなと。

あとは酪農とかをして、この（竹田の里）の環境を生かした、お年寄りのやりがいとリハビリ、それでお年寄りがずっと元気でいられて、成り立つような仕組みにして、この辺の文化財みたいな、千古の家だったりとかがあるんですけど、そのまま守っていきたいです。

それから、学校が閉校になっているんですが、子供を増やして学校を復活させたい。ここに

にぎやかさを取り戻したい。そういう場所を限界集落というところに作ってにぎわせたい。

あとは密かな野望としては、世界中の洋服マニアが集まる店をここ（竹田の里）でやりたいというのがあります（笑）

大蔵富宏様、お忙しい中、
ありがとうございました。

アート労務

電話番号：0778-43-5276

メール：artroumu@abelia.ocn.ne.jp

住所：〒910-0856 福井県鯖江市本町3丁目1-3 小谷ビル2F

営業時間：9：00～18：00

定休日：日曜日